

# 認知症サポーター養成講座を開催しました



令和4年12月15日、センター地下1階会議室において、東尾久地域包括支援センターのご協力で、認知症サポーター養成講座が開催されました。参加者は14名。「認知症ってどの様な症状なのか?」「認知症の方への関わり方」など、映像・お話・寸劇等を交えて行われました。周囲の人達の理解とサポートが必要であると痛感した有意義なセミナーでした。(文と写真:鈴木)



▲講習風景



▲認知症サポーター実演

## シルバー人材センターの普及啓発活動にご協力を!

### ① A3判ポスター

耐光・耐水紙のポスターとなっています。ご自宅などへポスターの掲示にご協力をいただける会員の方は、大変申し訳ありませんがセンターまで取りに来てくださるようお願いいたします。



### ② 自転車の前カゴ用カバー

「会員募集・仕事募集中!」「荒川区シルバー人材センター」の文字が印刷してあります。数量に限りがありますが、装着を希望される方はセンターまで取りに来てくださるようお願いいたします。



### 理事会だより

令和4年度第9回定例理事会(12月21日開催)

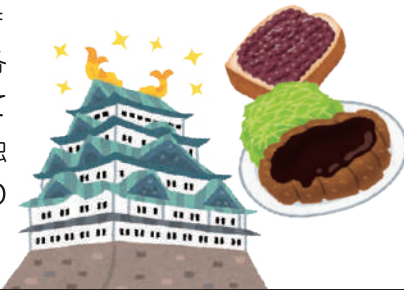
今月は新たに24名の入会者が承認されました。

令和4年11月分事業実績は、前年度同月と比較し0.2%減少しました。



### 編集委員コラム

2023年の干支は卯(うさぎ)です。ウサギのイメージといえば「おとなしい」とか「跳躍」ですが、私的には少し強引に「白(しろ)兎」=「城」となります。今年は各地の「城」を巡る旅に出て食文化や歴史の一端に触れてみようと思います。〇



あらかわシルバーだより

みんなで仲良くわきあいあい  
第187号

# あいあい

令和5年  
1月号

令和4年度 荒川SC安全就業標語 》》 感染対策忘れずに 今日も一日安心作業

編集・発行:公益社団法人 荒川区シルバー人材センター 〒116-0012 荒川区東尾久4-32-7  
Tel.03-3810-1141 Fax.03-3810-5750 ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/arakawa>

会員数(理事会開催日:令和4年12月21日現在) 1,670人(男性:1,016人・女性:654人)

## 新年のごあいさつ

令和5年の初春を迎え、ひとことごあいさつを申し上げます。  
荒川区をはじめ関係各位、また会員の皆さまにおかれましてはお健やかな新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。  
さて、新型コロナウイルス感染症が未だ収束に至らず、非常に懸念される状況ではありますが、引き続きシルバー人材センターが果たす役割は非常に大きいものがあります。地域社会の一翼を担う礎を認識し、生涯現役を目指し相互に協力のもと頑張っていきましょう。結びにあたり、会員の皆様並びに関係各位の皆様の益々のご活躍、そして健康で一層うさぎの如く飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人荒川区シルバー人材センター  
会長 寺澤武



監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副会長	会長	
山本順子	池田哲	野口英二	大野晃	早川美智子	片桐始子	芹田茂	大川修作	鈴木幹雄	濱島明光	中村浩喜	寺澤武

### 役員紹介



本年もよろしくお願いたします。



令和4年度 日暮里・谷中健康ウォークを実施しました

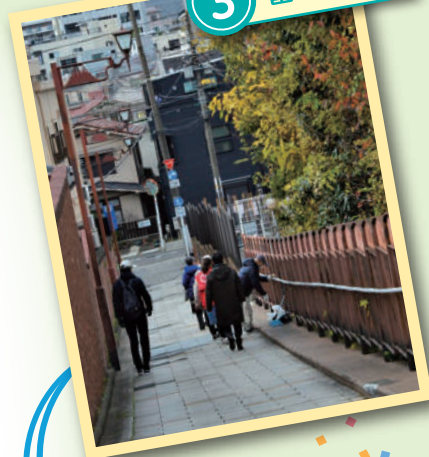
1 地藏坂



2 諏訪神社



3 富士見坂



4 谷中銀座



5 夕焼けだんだん



6 谷中霊園内



7 渋沢栄一墓所



8 芋坂下



令和4年12月2日(金)、師走の青空のもと「日暮里・谷中健康ウォーク」が実施されました。参加者は19名。

日暮里駅前から西日暮里駅脇の地藏坂〔1〕を登り、屋根の上から境内まで黄色の絨毯を敷き詰めたようで幻想的な諏訪神社〔2〕に到着。そこから富士見坂〔3〕を下りよみせ通りへ移動し、谷中銀座〔4〕で自由散策。夕焼けだんだん〔5〕から御殿坂・下御隠殿橋と紅葉坂を通り、谷中霊園内〔6〕(五重塔跡、徳川慶喜墓所、渋沢栄一墓所〔7〕等)を見学しました。その後芋坂〔8〕を経て日暮里駅で解散となりました。

約3.3kmの起伏のあるコースを約2時間かけて巡りましたが、見る・聞く・食べるなど刺激のある楽しい時間でした。(文:結城/写真:鈴木)

令和4年度 会員趣味の作品展

令和4年12月19日(月)～23日(金)  
町屋文化センター



町屋文化センター2階ふれあい広場で12月19日(月)～23日(金)の日程で会員の作品展が開催されました。写真、絵画、手芸など多くの作品が出展されていて、来場者は「素晴らしい作品ですね」「懐かしい場所の写真があって旅行した気分になりました」「達筆な書に圧倒されました」等々の感想を口にしていました。以前の文化祭とは違い、寄席やバザーなどのお楽しみはありませんでしたが、会員以外の方々も多く来場されていました。これからも開催ができるような環境であればいいと思いました。(文:松井)

